

※該当するものを〇で囲むこと

T	直近1	年間に在	字春春	を担当Ⅰ	た串者	こつい	17
Ι.	旦处!		- 七/沢 民(ユョニコし	ノノールは、日)		٠ ر

1	平均診療期間]				()ヶ月	
2.	合計診療患者	f数				()名	
	【再掲】死亡患者数					-3+4 ()名	
	(1)うち医療	療機関以外での死	死亡者数		1+2	()名	
	ア. うち自宅での死亡者数				1	()名	
	イ. うち自宅以外での死亡者数				2	()名	
	(2)うち医療機関での死亡者数			3+4	()名		
	ア. うち	連携医療機関での	の死亡者数		3	()名	
	イ、うち連携医療機関以外での死亡者数				4	()名	
(1 学	超重症児又は 5歳未満であって 総合管理料又は る。)	準超重症児の患、3回以上定期的な 施設入居時等医学績	者数 訪問診療を実 総合管理料を	施し、在宅時医 算定したものに		()名	
Ⅱ. 直近	1年間の訪問	診療等の実施回	数について					
	i問診療等)合計回数	(1)往診		再掲】 急の往診	(2)訪	i問診療		問看護 を含む)
1+2)+3	① ()回	() (2 () 回	3 () 回
Ⅱ. 直近	£1月間におけ	る往診又は訪問	- 診療の状況	について				
1	初診、再診、	往診又は訪問診	療を実施し	た患者数	-		()名
2	② 往診又は訪問診療を実施した患者数				-		()名
3	往診又は訪問	問診療を実施した	患者の割る	÷(2)/(1))			()%

IV.主として往診又は訪問診療を実施する診療所に係る状況(Ⅲの③が95%以上の医療機関は 記入すること)

(1	(1) 直近1年間に、訪問診療を開始した患者の紹介(文書によるものに限る。)を受けた保険 医療機関(算出に係る機関: 年 月 日~ 年 月 日)							
		保険医療機関の名称	患者の紹介を行った医師		を受けた日付			
	1							
	2							
	3							
	4							
	(5)							
(2)	(2) 直近1月間の診療実績(算出に係る機関; 年 月 日~ 年 月 日)							
	1	在宅時医学総合管理料を算定	名 名					
	2	施設入居時等医学総合管理料	名					
		③ ①及び②のうち、要介護3以 厚生労働大臣が定める状態	名					
		^③ 厚生労働大臣が定める状態	4					
		施設入居時等医学総合管理料	0/					
	4	2/(1+2)	%					
	⑤	要介護3又は別表第八の二に	%					
	9	態に該当する患者の割合	90					

Ⅴ. 在宅支援連携体制について

1. 在宅医療を	担当する常勤の医師数	()名	
2. 連携する保	険医療機関数	()医療機関	

[記入上の注意]

- 1 Iの1の「平均診療期間」は、患者1人当たりの在宅医療を開始してからの平均診療期間を月単位で記載すること。
- 2 I の2(1)の「うち医療機関以外での死亡者数」を記入するに当たり、介護老人保健施設等の入 所施設で死亡した患者については、「イ. うち自宅以外での死亡者」欄へ計上すること。
- 3 I の2(2)の「連携医療機関」とは、事前に緊急時の受入を届出ている医療機関であり、在宅支援連携体制についても含むものである。
- 4 Ⅱの「うち緊急の往診」については、緊急又は夜間・休日若しくは深夜に行った往診を計上すること。
- 5 Ⅲについては、在宅療養支援診療所が記入すること。
- 6 IVの「在宅支援連携体制について」を記載するに当たっては、自院を含めた数を記載すること。 なお、第9の1(2)に規定する在宅療養支援診療所、第14の2の1(2)に規定する在宅療養支援 病院が記載すること。